

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（27）（27）」

2. 日時：令和5年10月4日（金） 12時10分～13時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他11名

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）の影響について

<<本年10月2日に受取済み>>

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）の影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	A規制庁地震津波のスズキですそれでは今から玄海川内の長期評価ということでヒアリングを行います。
0:00:13	資料としては川内日向灘南西諸島の長期評価の影響これ 10 月 2 日付で玄海が本日付で、日本海南西部の海域活断層長期評価の影響ということで出てます。
0:00:25	ただ、仙台の方は、こちらは冒頭のですね概要ということで、長期評価の概要、或いはそれに対して地震動津波の観点で影響がないことの概要をまたしていただいただけなので、
0:00:39	特に九州電力からこれといって補足がなければ、こちら特にご説明、中身の確認は省略したいと思います。よろしいでしょうか。
0:00:49	九州電力の徳永です。そのような進め方でよろしく願いいたします。
0:00:54	はい。それであと限界ですけどもこちらですね基本的な長期評価とどこで差分というかバッティングしてるかみたいな話はこれまで聞く聞いてきてますので、
0:01:07	今回一部あれですかね、解析結果なんかを、
0:01:11	引き継ぎ出してる部分があるので、ちょっとそこら辺中心に端的にご説明いただけますか。
0:01:17	承知しました。
0:01:19	九州電力の徳永です。TPG043 の資料をもちまして、地震本部の長期オカダ一般の原価への影響というのをご説明させていただきます。
0:01:29	資料をめぐっていただきまして 1 ページ目に 2 ページ目ですね、の方に目次を入れてございますが、前回のヒアリングのコメントを踏まえまして 1 ポツ目に概要版というものを 3 ページ目から入れてございます。
0:01:46	と、先ほど都築さんからも少しコメントありました通り
0:01:50	地震動とか津波の影響確認のところについて諸元を少し変更してますのでその結果については 5 ページ、5 ポツのところということでその二つ、2 点を中心に、
0:01:59	ご説明をさせていただきたいと思います。
0:02:04	4 ページ目以降が、概要版ということになります 4 ページを見、お願いいたします。
0:02:10	4 ページ目は地震本部がこういった玄海周辺のところにも九つの断層を公表しましたというところを記載しております。
0:02:19	5 ページ目が、その 9 断層のスクリーニングということで、9 断層のうち 6 断層はアノン時、断層長さが長いと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	既許可の評価の方が長いということでスクリーニングアウトするということで、詳細な確認が必要な3断層オノシマ金貨1シマヒガシ同第1ゴトウを、
0:02:41	しっかりと確認する断層として選びましたというのを入れています。
0:02:45	6ページ目が、それぞれのまず活断層評価の部分について協会評価と地震本部の評価を比較しながら確認していきましてという話を、それぞれ下ろし6ページ目に炉のシマ、
0:02:58	7ページ目に、第1号棟津島比嘉水道という形で資料を本編の部分から抜粋して持ってきているというものでございます。
0:03:08	で、この3断層につきまして8ページ目以降に地震動と津波評価のですね、地震動評価と津波評価の影響確認を行うということで、
0:03:18	8ページ目に、地震動の影響確認を行っております。基本的にはMΔから確認を始めまして検討用地震でノダの手法で比較をして、
0:03:29	おりますというのをそこです。この3断層はスクリーニングアウト地震動はされますというのを入れています。それと、土佐さん、参考として降ろしオノシマ時、警護断層の連動ということで一応これを一連の活動で間連動するものと指摘
0:03:45	地震動を計算した結果と、基準地震動の比較を行って不確かさを振っても、これらが包絡されるということも、左下の方に記載をしているというものでございます。
0:03:56	9ページ目が津波ということで、津波につきましても簡易予測式から始まりまして簡易予測式で切れなかったオノシマダ1ゴトウは数値シミュレーションをやって、
0:04:07	その結果が今の基準津波の範囲内ということで確認をしていますという話を入れています。
0:04:14	それと先ほど地震動と同じように参考にローシマとK5の連動の結果もやっていますというのでそれも、基準津波の範囲内というのを、概要版で入れてございます。
0:04:25	これが一応概要版ということでございます。
0:04:28	で、10ページ目以降をまず、2ポツの第1号アノに、今回の長期評価の第1版の概要ということで、資料を11ページから15ページに行きます大きな修正等ございませんので、少数
0:04:42	説明は割愛させていただきます。
0:04:46	資料16ページ目影響確認方針というところで、17ページをお願いいたします。右の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	フローなんですけども、前はアノ3断層で活断層評価として活断層評価を見直す必要がなければそこでスクリーニングアウトというふうになんかちょっとしてたんですけども、
0:05:08	一応もう抽出した断層、詳細な確認が必要な断層として選んだものはすべからず基準地震動基準津波の影響も併せて確認するという方針に一部変更してございますのでそういったフロー。
0:05:21	の修正を、③から④の幾つ矢印のところでは修正をしております。
0:05:27	あとそれ以降については修正はございません。
0:05:32	4ポツ、
0:05:34	19ページ目の4ポツの海域活断層評価からですけども、ここからは最初にスクリーニングの話がありますが、これにつきましては、23ページまで大きな修正等はございません。
0:05:48	続いて24ページ、各断層の影響確認ということで、25ページ目からオノシマ金海断層というものでございますけれどもこのオノシマ金海断層の表へと、
0:06:02	記載についても前回のヒアリングから大きく修正等はございません。
0:06:09	で、ちょっとすいません、38ページと39ページに、前回ちょっとヒアリングで、産総研の測線もこれ止めの根拠としてるんじゃないかという話も等ありましたので、
0:06:22	前回のヒアリングから一部測線を、にこの38と39だけ追加をさせていただいておりますそれ以外は大きな趣旨は変わってございません。
0:06:32	で、オノシマ金海断層はそういった形で49ページまとめまで修正等は
0:06:40	大きく変更はございません。
0:06:42	51ページ、津島ヒガシ水道ですけども、津島東出も基本的には、記載内容は大きく変えておりませんが、
0:06:51	ここの対馬東水道の扱いについて、活断層評価としては当社としては、端部はしっかり我々、確認できているものがあるだろうということで、
0:07:03	活断層評価としては、変えずに、ただ、一応、地震本部が少し南側が長いのでその影響確認をするという方針に変更してございますその辺の記載を変えたのが58ページというものでございます。
0:07:23	すいません駆け足ですが、あと、60ページ目以降から、第1号体ですけども、これも基本的には、資料を大きく修正はしてございません。ただ、前回のヒアリングから、
0:07:35	北川2測線並べて見れるようにということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:42	367 ページと 68 ページの順番を一部入れ替えてきたから檀測線が見えるように修正をしているというものでございます。
0:07:51	あとは大きく修正は変更はしてございません。
0:07:55	以上が、74 ページまでが、以上が活断層評価のまとめでございます。で、冒頭申し上げました通りこの 3 断層につきましては基準津波基準、
0:08:06	地震動への影響確認を行うということで、75 ページ目に、その数 3 断層全部の部分を確認をするという位置付けにしております。
0:08:17	まず 76 ページ目、をお願いいたします。この 3 断層につきましては、影響確認をするということなんですけど断層長さをどのように設定するかというところを、
0:08:31	この 76 件から 777879 で整理をしてるんですけどももともとアノ北川の方が、うちの評価が長いとか、南側地震本部が長いとかバラバラありましたので、
0:08:44	断層地震動とか津波の波源設定にあたっては、どちらが長くなる方、断層長さが長くなるように単点をとって包絡するように設定をしております。
0:08:57	卸まず金海断層につきましては地震本部が 63 キロとで、我々の域北東が 51 キロで一部警護断層を認識してるんですけどもこれにつきましては、
0:09:08	後でちょっと後段でもう少しご説明しますが、最大単点を最大的に長くなるように取りまして 70.5 キロと。
0:09:17	津島ヒガシ水道も地震本部では 27 キロでうちの伊豆は、それに対応する伊澤東方沖断層は 26 キロとしてますが、これを単点長くとりましての 32 キロ。
0:09:29	第 1 ゴトウ体につきましても 70 数、地震本部が 73 キロというものに対して、うちが浮くで、北西と中通シマオスそれぞれ 34 キロ 19 キロで中部は見えないんですけども、これも単点同士を長くとりまして 78 キロの震源波源のモデルを設定
0:09:46	するということにしております。
0:09:49	で、77 ページ目をお願いいたします。
0:09:54	で、77 ページ目に、赤色が土岐許可の活断層図で青色が、地震本部の今回の活断層図を重ねて書いてございます。
0:10:07	まず、北西北川の単点の方なんですけどもこちらにつきましては、地震本部より我々の方がやや北西側に断層を認識していると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:18	ということでございますので、当社がこの北川の藤断層の認識している止めの測線GSナンバー117。
0:10:28	でこれを北川このな時、地調の測線までをキタノ、
0:10:33	止めの単点というふうになっているというものでございます。
0:10:39	南東側につきましては警護断層は、卸青ノロシマ金海断層の先に我々和気5断層として、
0:10:49	認識している海野断層が赤いラインでちょうどあるんですけども、そういう扱い、そちらの方が若干南東側が長いということで、解除、その断層の止めとして認識しています海上保安庁の測線A16というものがあるんですけどもここまでを、
0:11:05	ミナミナミカワの止めということで、このGSナンバー117と海保のA16－Ⅷ止めの測線の位置をつなぐ、この緑のライン、
0:11:17	これを長さとして70.5キロとして、
0:11:22	震源波源として設定するというふうにしてございます。
0:11:26	同様の考え方で、78ページにまず、泉原青並べておるんですけども、津島ヒガシ水道ですね、78ページ目の北川の方に、
0:11:39	きましては、当社の止めの測線が、これも北川内が長いということで当社の止めの測線がGSナンバー7ということで、
0:11:49	これをキタノ止めにしてございます。南西側につきましては、地震本部の方が若干長いということで、一応
0:12:00	地震の活断層評価では地震本部は止めとしては地質調査所のGSナンバー2をとめのと測線にしているだろうということを、我々として推定をしてございますのでこのGSナンバー2の測線までを、
0:12:14	丹南側の端点としまして、時田をGSナンバー7へとし、ミナミをNo. 2ということでこの端橋をつないだ32キロを設定するというふうにしてございます。
0:12:28	で、79ページ、第1ゴトウ体なんですけどもこれも同じような形で評価をしてございます。北は、当社の北西の方は
0:12:39	長く、地震及び設定しているということで九州電力の止めの測線No.15をキタニしまして、
0:12:46	南側につきましては今度地震本部の方が長いということでございますので地震本部がコメントした石油公団の測線SN1-18、これを南側の南端としまして、
0:12:59	ナンバー10ゴトウSN1-18をつないだ絵と緑のラインを、震源波源として78キロに設定すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:07	いうものでございます。
0:13:10	で、この震源波源を改めて設定いたしまして許可の評価フローに基づきまして基準地震動基準津波の影響確認をしていくというのが、次の 80 ページ以降になります。
0:13:24	で、基本的には大きな結果は変わりませんが、81 ページにMΔをつけておりますが、アノス諸元の数字を先ほどの設定した諸元に変更しているというものでございます。
0:13:39	82、3 ページも、ノダの手法で比較しているものの応答スペクトル図を付けてございますが、結果自体は大きく変更はございませんけれども、
0:13:50	大野シマ金海断層の表現、数諸元を先ほどの証言に変更して、修正をしているというものでございます。
0:14:00	と、84 ページが第 1 ゴトウたいということで先ほどのオノシマと同じように、証言のアップデートをしているというものでございます。
0:14:10	9815 ページ目以降が、津波の評価ということでこれも先ほどと同じように、地震動と同じように証言のアップデートをしているということで、
0:14:21	86 ページ目に簡易予測の結果ということでこの辺も、何断層長さとかも、モーメントマグニチュードとか、
0:14:30	津波の推定の津波高とかの諸元を更新をしています。で、ただし、もともと誤差、前回のヒアリングでご説明していたような内容から大きく変更が起きているものではないというものでございます。
0:14:44	88 ページにす。さらに数値シミュレーションの結果というのも載せてございますけれども、こちらについても、数値自体は変わっておりますが、諸元が変わりまして変わっておりますが窓、
0:14:57	卸金海断層第 1 号とパラスターケースをやったとしても、基準津波の範囲内という結果には変わりはありません。
0:15:07	で、S、
0:15:09	最後に 6 ポツのハザードの影響ということでございます。91 ページ目をお願いします。
0:15:17	床、こちらからハザードの話を記載してはるんですけども、今回の影響評価の対象としている域北東部の断層群、
0:15:28	伊豆原東方沖断層群、宇久島北西沖伊井断層群仲通り霜田さん。
0:15:35	については、そのナカ通りですね、についてはその他の活断層として考慮をしているというところでこのアップデートをかけて衛藤。
0:15:44	は、地震ハザードの影響確認をしているというものでございます。その確認結果が 92 ページと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:52	ということで、この3断層について、既許可の特定震源のハザード曲線に対する感度解析を行ってその影響について、確認をしたということですが、3断層を考慮しても、
0:16:04	特定震源全体のハザード曲線への影響はないということのキクカワ評価等は変わらないので、確率論的地震ハザード評価への影響はないというふうに考えてございます。
0:16:15	またその他の海域活断層、これ3断層以外のものについてもアノは、我々の活断層の位置も規模も変わらないということと、地震本部の活動度もBからC級ということでそれを我々設定した範囲内ということでそこも影響がないというふうに整理をしております。
0:16:33	で、93ページ目が津波のハザードというところでございます。で、これも地震動と同じようなやり方をしております。
0:16:43	で、この3断層を織り込んだ場合の津波ハザードの影響確認をしているというものでございます。94ページ目をお願いいたします。その結果が、94ページ目の左下と右下なんですけれども、
0:16:58	ここでちょっと申し訳ないんですけども、今、先ほど冒頭明石の方に、からちょっとありましたけれども、諸元自体は、
0:17:10	推本そのものの諸元をちょっと今計算として入れてございます。
0:17:15	で、
0:17:18	もともと最大の設定をするっていう証言にちょっと今、随時計算中ではあるんですけども、その結果を見ましても、基本的には愛知許可のハザード曲線ともうほぼ重なる。
0:17:31	程度ということで影響はないということを確認をしますで、もともと設定した最大の長さの諸元に基づく結果につきましてもある、改めて次回の資料提出の際に更新をかけて
0:17:44	提出させていただきたいと思っております。
0:17:49	で、
0:17:49	以上が大きな設定変更点でございます。7ポツ目を映像まとめとして、9697ページに記載をしているというところでございますので言いたいこととしては、
0:18:03	基本的にはこの3断層、夫馬恵音影響確認、しっかりしないといけないという断層として3断層として確認をしましたが、その3断層については活断層評価見直す必要はないだろうというふうに確認をしましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:18	あと基準地震の基準津波への影響この3断層については、やってやりましたけれども基準地震動基準津波の影響はないという評価を確認したと、ということそれとハザードの影響についても
0:18:30	先ほど説明した通り、これを取り込んだとて、曲線としてはもうほとんど影響がないということを確認したということ、まとめとして記載をさせていただきます。
0:18:39	それと、98 ページ目に、オノシマ金海断層とK5 断層体の連動というものを入れていってございます。
0:18:50	99 ページ目から、Sご説明をいたしますが、連動に関する検討の趣旨をこの冒頭箱書きのほうに記載をしていますが、
0:19:00	一連で活動する活動する場合の震源及び波源の設定については既許可評価、地震本部評価を踏まえて先ほど断層長さの考え方を、と同じようにですね保守的に長くなるように、
0:19:15	114 キロとしてこの連動の計算をしているというものでございます。それが図示したのが 100 ページというものでございます。
0:19:25	101 ページ目をお願いします。まずオノシマとけ 5 が一連で活断層するか、事例で活動する場合の地震動評価ですけども、
0:19:35	こちらにつきましては、まず検討用地震選定における竹木場ジョン、竹木場と城山による地震とノダの応答スペクトルを比較する。
0:19:45	比較すると、短周期で城山南断層を上回って、一部の周期体で竹木場断層と同等となっているということでここで、
0:19:54	は参考としてこの連動を試算することとして、評価において応答スペクトルに基づく地震動評価及び断層モデルを用いた手法による地震動評価を実施しておりますということで次のページに、
0:20:07	5 年、102 ページをお願いいたします。
0:20:11	この連動にあたっては既許可評価と同様に基本的なケースに加えまして不確かさケースを考慮したもの、断層傾斜角、応力降下量を設定して、
0:20:22	断層長さが長いことから、さらにですね、断層長さが長いことから地震動評価の影響が大きいと考える破壊伝播速度の不確かさも考慮してやるというふうなところを 102 ページに記載をさせていただきます。
0:20:37	まず 103 ページ目ですけども、こちらが震源断層パラメータは供試の予測レシピにより長大な横ずれ断層に関する断層パラメータを設定しており、こちらに基本的なケース及び不確かさの考慮したケースの震源モデルを示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:56	104 ページをお願いします。100405 ページ目基本的な計算の不確かさ。
0:21:03	を考慮したケースの震源モデルの断層パラメータを表示しております。
0:21:13	106 ページ目をお願いします。D106 からこの 109 についてはその不確かさ係数を踏まえて、
0:21:23	敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による基準地震動Ss1 から 3 の応答スペクトルとオノシマとK5 が連動する場合の比較を行ってございます。
0:21:34	卸本木郷が一連で活動する地震動の応答スペクトルは、Ss湾の応答スペクトルを下回っているということはこの図から確認ができると、かいうことで、
0:21:45	既許可の基準地震動への影響はなく安全上の影響はないというふうに我々としては評価をしております。
0:21:52	100、789 が、それぞれ断層傾斜角の不確かさを考慮したケース、108 ページ目が応力降下量の不確かさを考慮したケース。
0:22:04	109 ページ目が破壊伝播速度の不確かさケースを考慮したもの、それぞれの結果になってございます。
0:22:12	最後に、津波の方ですけどもこの連動の都市計算をしましたというものでございます。まず簡易予測式から 5.5 メートルということで既許可の 1 メーターを超えを超えた場合には、
0:22:25	詳細パラメータスタディを行うというふうなところに引っかかってきますのでその連動の詳細数値シミュレーション結果をしましたというのが真ん中の表になります。
0:22:36	で、最大でも上昇側でも 1.86、下降側でマイナス 1.49 ということで、これは基準津波の設定の範囲内ということを確認をしておりますので影響評価に影響ないというものを確認をしております。
0:22:52	駆け足になりましたけどもご説明は以上になります。
0:22:59	うん。はい。規制庁鈴木です。ありがとうございます。はい。
0:23:05	ちょっと細かいちょっと解析結果等も出されてはいるんですけど、一応骨格から、
0:23:13	概要ですかね。
0:23:16	4 ページはこれまで聞いてきてないので、差分の話と 5 ページも、
0:23:21	特に詳細な確認が必要なのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:25	少しこの警護断層体も含みますけどロシマ金海断層体、許可でいう域北東部ですね。
0:23:32	あとは2点目が、対馬ヒガシ水道これが許可でいうところ泉原ですね。
0:23:39	デザインは第1ゴトウ断層体でこれが許可というところの対馬
0:23:45	南西だったかな。
0:23:47	かな。
0:23:51	江島と、さらにその先だと。
0:23:55	推本で言うところの津島南方でしたっけ。
0:23:59	許可というところの津島南西沖断層、そこもひっくるめての、
0:24:02	範囲のところ
0:24:04	で、
0:24:04	ここもこの三つの断層ですと、
0:24:07	一応御社としてはそれについて市岡との
0:24:12	影響を確認しましたということでも、許可の評価と言ってるのは、6ページからですね。
0:24:19	これは一応
0:24:21	当時、いろいろ知見、データ音波探査記録で断層トレース区分だと敬語断層の関係も整理して評価してるんで、これは許可の活断層評価自体、その段階で見直す必要がありませんと。
0:24:32	第1号藤田井断層体が7で、こちらは長許可と異なりってどう異なるか後ろの方に詳細に出てくるとして、
0:24:43	自社独自の音波探査測線の三つにあるんです。それで断層とあとその連続性を評価しているんです。
0:24:51	ですね、一部、新しい測線が、地震本部2022を見るとあるんだけどそれも確認しました。
0:25:01	従ってここは清川の活断層評価の段階でこれを見直す必要がないというのが一応現状御社の見解と、
0:25:09	で、3点目の詳細確認の対馬ヒガシ水等、
0:25:14	御社でいうと泉原ですね。
0:25:16	これがほぼ同等、一応若干の差異が認める断層。
0:25:20	でほぼ同等で、
0:25:25	断層端部のところに若干差異があるんだけど、
0:25:28	一応ここは許可評価の測線でここにこれも見ていたわけなんで、これも変えませんと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:36	いう活断層評価の段階で鳥栖地震本部と見解をこういにして、それを 変えませんかということで、ただし書きとして、
0:25:46	地震動津波の影響の確認を
0:25:50	しましたと。
0:25:53	で、その確認をしてるのは、8 ページからかな、概略で言うと、
0:26:00	卸松島ヒガシ井戸第 1 号当貸。
0:26:03	これを、さっきの詳細な説明だと、一応地震本部の端部とあと自社の測 線で取った田んぼを比較してそのいずれかの長い方、
0:26:13	っていうんですかね。
0:26:14	に 1 回この長期評価ノロシマとか対馬、
0:26:19	ヒガシ水道ダイゴ導体を置き換えた上で、一応それで一応影響確認は してますということですね。
0:26:26	うん。
0:26:29	で、
0:26:30	それが自著検討用地震に選ばれないレベルだ云々の話があると。
0:26:37	あと和気 5 断層との連動と言って一応長期評価で、調教過剰だところシ マ金海断層、これ長今後の調査によっては、警護断層ノダの延長部 になるかもということが書いてある。
0:26:50	で、その点については、これも先ほどと一緒に、御社の藤いずれかの長 い方で、
0:26:59	肥後断層体だと何か東側、10 キロぐらい伸ばしてましたよね。
0:27:03	さらに降ろしの方も、土肥紀北と御社の壱岐北東部を踏まえると 5 キロ ぐらい、西側が伸びると、そのマックスで取って、イマイ、
0:27:12	やられてるっていうのがこの参考で、これはいいですかね。
0:27:16	第 1 号導体の方は特にそういうのは今のところないということですね。
0:27:22	はい。
0:27:22	一応津波側の結果が 9 ページで、
0:27:26	津波の推定値としては、
0:27:30	簡易予測で津島ヒガシ水道は 1 メートルを超えないという許可の時との 考え方で落としますと卸は第 1 号棟たい。
0:27:39	これは、これはさっきの地震と一緒にですね、活断層長さ。
0:27:45	評価評価と長期評価のいずれかの長い方でとった断層長さでやって、 これはシミュレーションまでやった結果、
0:27:53	推定津波、
0:27:56	高さはこうなり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:58	その間予測で 3.11. 5 でいうので詳細なシミュレーションした結果、上昇下降側とも基準津波を下回りました。
0:28:09	はい。これもね、細かいパラスタとか、或いは不確かさが起こるとか、いろいろいっぱいありますけど、
0:28:15	はい。
0:28:16	ここでわかりますとさらに津波の方も、パラスターの、
0:28:22	含めて津波の影響も参考でありましたと。
0:28:25	ということで一応本社としてはなんで、活断層評価の段階で、推本とは異なるか、限界評価をする。
0:28:35	ということですね。はい。
0:28:37	その上でその先も、
0:28:39	一応推本の
0:28:41	活断層長さで、自社と比べて長い方でとって単品での評価
0:28:48	というのとあとは、連動というのは、警護断層と卸近海断層体の方は長期評価上で、一連のものというようなことがあるのでやってみました
0:28:58	ことですね。はい。
0:29:03	はい。
0:29:05	御社のどういう手順でやり方やってるかっていうのはわかりまし。
0:29:10	ただ、はい。
0:29:11	あとはちょっとそのエビデンスがねどうかっていう話はさておき、はい。
0:29:15	ちょっとこの概要版の部分のところで、何かあるかと言いますよろしければ、
0:29:20	そんなに、これまで、
0:29:22	一応考えとしては聞いている話なんで、
0:29:24	ちょっと今回少し足されたところを簡単に確認しときますけど、
0:29:28	なければ、
0:29:30	次。
0:29:31	吉井です。
0:29:41	はい。そしたらですねえ。
0:29:44	結論までは一通り、
0:29:48	行って行って、
0:29:53	事実確認で、
0:29:55	今回
0:29:58	これ詳細がないんでわかんないんですけど、既許可との関係でいくと許可のときに、あまりこの中通島オクシマとかなんか堂島ってかなり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:08	特に中通島西方沖断層群って、
0:30:11	当時は多分 100 キロかすってないぐらいのところだったので、
0:30:16	あまり細かくというか、その詳細な測線データ等を、当然我々も説明受けて確認してないし、おそらく、
0:30:27	敷地周辺の地質地質構造のところでは、多分具体その個別断層名を挙げて説明してなかったと思うんですけど。
0:30:34	そういう意味でいうと、御社さんがその自社独自の新しい測線というか長期評価には組み入れてない測線があるんですと言ってたのは、
0:30:44	ちょっとここだけ、事実確認します。9、60。
0:30:47	3 ページ。
0:30:48	でいうと、
0:30:54	これはなーん
0:30:58	パー18とか当社測線No.19 までかな、これが多分あの宇久島北西に断層群は多分南側の止めについては、会合とかで説明があって、
0:31:09	そこまではあった上で、その先の、
0:31:13	109、20、2122324 というのは、
0:31:17	これはだから詳細な大ビジネスも、今回もかなり縮小した画像は出てますけど、
0:31:23	これはだから今回初めて、
0:31:28	今回のこの中で、初めて説明を始めている。
0:31:31	っていう理解そこだけは確認なんすけどいいですかね。
0:31:34	はい。九州電力の徳永です。今鈴木さんのご指摘の通りの認識でおります。箱、凡例の箱書きのところにですね、一番下に九州電力による調査測線っていうところの、
0:31:48	右の方に括弧で、赤字の測線ナンバーはこれまで未公表というふうなのになんて追記させていただいてるんですけども。
0:31:56	鈴木さんが先ほどおっしゃられたナンバー109、2021222324、こちらが未公表の測線になります。以上でございます。
0:32:06	はい、わかりました。その上で、
0:32:09	この辺の会議当時も当然、評価の時の津波評価なりの時に、
0:32:15	御社も文科省のプロジェクトが二つかな、片方多分例示で挙げた気がしますが走ってるのは認識していて、
0:32:23	そういったものが出たらそれを収集して分析して反映してっていうような、一般的なことは書いてあったんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:31	今ここでナンバー20、多分連番になってるので、あくまでこれ多分許可の説明の中には入れてないけど評価の時にとっていたものっていうことで、
0:32:43	例えばそれ以降に何か新たに測線をとってデータ拡充して、
0:32:47	という。
0:32:48	ことをやっていたわけではないっていうことでいいですかそこ、そこも単なる事実ですけど。はい。九州電力の徳永です。鈴木さんが今おっしゃられた通りの認識で間違いありません。以上でございます。
0:33:00	はい。
0:33:01	終わりました。
0:33:03	多分今回初めて測線名が出てきたりするのはそのあたりかなと。
0:33:09	で、よろしいですかね。なければちょっと次出されたこの基準地震動基準津波の影響確認のところで、ちょっと何点か、
0:33:19	あんまり細かい話はしませんけど、
0:33:23	77 ページかな。
0:33:28	これが西側が御社小GSナンバー117。
0:33:34	止めの測線地質調査所、これ御社のと、許可のときの止め、
0:33:39	てことですね今回何か新しくやったわけじゃないです。
0:33:42	ていうかの時の止めの測線ですね。はい、企画課の藤木野と室測線図になります。はい。海保の16もこれ許可のときの、
0:33:50	止めですねはい。
0:33:52	ねえ。地震本部が青字なんで西側ね割と断層が分割されてるんで、地震本部ここまでだなのがぱっと見てわかるんで、大体これは、
0:34:05	5キロ行かないぐらい、5キロぐらい伸びるんですかね西側。
0:34:10	徳永です。正確な数字もちょっと私もあれ、あれなんですけども目を見て大体4キロぐらい、4キロぐらい下の縮尺見ると、そうですねはい。
0:34:20	そうか測線までだからね。
0:34:23	この青の延長す。青い太線の延長のGSナンバー117。
0:34:28	までの間が大体目方でいうと4キロぐらいですね。はい。
0:34:32	で、
0:34:33	東側、連動させちゃうとあんま関係ないんですけどこれね、重なってて、
0:34:38	卸近海断層体って青字、青い文字しか書いてないんで、
0:34:43	これどのぐらい差があるんですかね。
0:34:46	ちょろっと重なってるところで、何か途中のぞいているような青が裏に、裏側にあって除いてるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:53	これがですね、ちょっとだいたい3キロぐらい。
0:34:57	だったと思いますはい。
0:35:01	3キロぐらい。はい。ほとんど最後、
0:35:04	隠れてて微妙に最後ちょっとノーサンキューぐらいなると確かに青線が、
0:35:10	青いのが後ろに隠れて見えるんで、
0:35:12	時間もあれなんで、はい。大体この3キロ西側が4キロぐらいということで見方で、
0:35:21	はい。
0:35:22	78までこれ重なってるんだけどこれは、
0:35:26	北川は、
0:35:28	CS、
0:35:30	No.07まで、
0:35:34	のバーしてここで、ちょっとこれ御社の方が、
0:35:38	ちょっとだけ長くなるのかな。はい。
0:35:41	地球に広がるイデミナミ側が、
0:35:44	これも微妙に重なってはいるんだけど、長期評価が長いんだけど、最後の止めの部分を行動したGSナンバー、
0:35:53	02か。
0:35:55	これはだから長期評価の方が汚染の端っこにしたんじゃないんで、
0:35:59	どの測線で判断するかっていうのを一応これ御社なりに判断をして、
0:36:05	GSナンバー02のところ、
0:36:08	まで延ばしましたと、中長期休暇も若干さらに延ばしたんすよね。これ、今回、
0:36:15	活断層評価上は見直さないんだけど影響評価の時にはこういう。
0:36:19	ここまで延ばしましたってことね。はい。
0:36:22	はい。
0:36:23	最後79ページ、これは宇久島のもともと判断したナンバー15測線、
0:36:30	南側は今回推本の第1ゴトウ体のミナミ端があって、
0:36:35	多分そこに一番近いというか、これも多分推本上で、この測線石油公団のこれでというふうには、
0:36:42	ここは何か推本あるイワモトプロジェクトで特定で知ってるわけ。
0:36:48	ではないのを推定して、はい、おそらくここだろうということで、
0:36:53	S石油公団のSs-N1の18、
0:36:57	ここまでで一応取りましたということですね。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:00	ちょっとこの辺りのところは、まだ、
0:37:06	先々の話。
0:37:08	はい。
0:37:11	よろしいですかねはい。
0:37:12	その上でということ地震動の観点でいうと、この単品で卸間とか第1ゴトウで単品でいくと、
0:37:21	検討用地震としてしますねと。
0:37:26	いうことで、
0:37:27	例えばなんですけど、ちょっとこれ、一応ね止め気あらかじめ聞いときますけど、津島南西。
0:37:35	大きいかな。御社でいうとちょっと、82ページで言うと16番、
0:37:40	かなり
0:37:42	下、小さい側の島イデね小さい側の部分ですけど、
0:37:46	これと、
0:37:47	84ページでいう、第1ゴトウ田井断層体。
0:37:53	これもかなり上山竹木場に比べればかなり小さいんですけど、
0:37:58	一応御社って、津島南西沖と、第1ゴトウ代の
0:38:03	北川に相当する部分って確か地震当時の地震動のときに、
0:38:08	確か耐専で比較して、かなり小さいですねってその範囲が多分説明したと思うんですけど。
0:38:15	さらになんで、
0:38:17	84ページのこの第1ゴトウたいと言われるものと、
0:38:20	82ページの16番津島南西沖
0:38:26	これをつなげた場合、
0:38:28	っていうのは、やってなければいいです
0:38:31	どのぐらいのその感覚で、この検討用地震とかとの関係でいうとどうなるのかっていうのは、やってなければやってません結構ですし、何か感覚的に掴んでる。
0:38:42	数字があるんだ。ただ、定性的で結構ですけど、聞かせてください。
0:38:49	九州電力の盛でございます。今、84ページの第1ゴトウ断層体とそれから16、82ページの16番、
0:38:57	土橋沖断層群を繋いだ評価自体はちょっと現状、すいません、実施してございません。
0:39:04	わかりました。単なる事実だけなんで、結構ですはい。
0:39:08	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:12	これです。
0:39:13	で、今度松波側ですねこれはもともとある程度は聞いてて少し今回なので断層長さがね、若干、
0:39:21	変え、
0:39:22	だけれども、何で推本と自社とで、いずれか長いほうなんで、若干ね長野ばした分だけ、少し、これは前回までのヒアリングが若干数字的なものは変わるけど結論としては、
0:39:35	これは 88 かな。
0:39:38	ということで
0:39:41	茂呂シマ金海断層で単品だけであればですね、プラス 1.3 などで、
0:39:46	西山断層体、
0:39:50	2 すら、プラス 1.8 なので、磯山断層、ひいてはこれ、
0:39:54	よくアノ+2.3 人ですね、これ今を呼ばれて下降側も、
0:39:59	黒島のマイナス 1.40 などでこれもした許可の範囲内ですというのが
0:40:06	計算。
0:40:07	細かいちょっとねパラスタの
0:40:09	やり方自体はありますけど、
0:40:11	はい。
0:40:12	あとハザードなんですけど、これは、
0:40:16	ちょっと、
0:40:17	これ今だと、
0:40:20	91 ページから見ると今田さんとあくまでその他断層の内数として扱ったときにどうなるかっていう。
0:40:26	そういう扱っている。
0:40:28	ということですかね。
0:40:31	ここの特定震源のハザード曲線、曲線だけを見ると、そんなに変わりませんよと。
0:40:39	ということですね。はい。ちょっとこの辺りは結局最後、
0:40:44	現状はね、御社活断層評価自体皆さん何年度ため地震動の影響を確認しましたの延長線上で、今何でその他活断層の内数で入れてるっちゃうことですね。はい。
0:40:54	この辺りは少し位置付けが、このその他断層の内数になるのか、いわゆる主要活断層なのかとかっていうところは、何か前提の決定論の評価上、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:05	地震動とか活断層評価上どう扱ってるかっていう位置付けにもよるので、
0:41:10	現状できるのはこの範囲までなんでしょうね。
0:41:13	松波もしかりですけど、
0:41:16	大井、
0:41:20	これまだ手つけてないんだと思うんですけど警護断層と卸の方で地震動評価の方とか津波評価の連動した場合の影響確認というふうに
0:41:31	今やってるじゃないですか。
0:41:32	それを対象にしたハザード評価の方っていうのはこれも単なる事実で結構です。
0:41:39	今何か検討されているのかどうかちゅう。
0:41:44	電力の徳永です。連動まで考慮したハザードの影響というものは今、現状今やれてないという状況でございます。以上です
0:41:54	はい、わかりました。
0:41:56	何となく感覚的に言うと、どうなんですかね多分、安全性向上評価の時とかっていうと、どちらかというところいう。
0:42:04	ハザード評価それによって、
0:42:06	地震起因とかね津波起因とかその他自然現象起因とかプラント故障起因とか、何かでこぼこ見て自然現象のこの地震とかね津波起因のところで、
0:42:16	何かネックになりそうなかって何か当たりをつける作業として最初にやってそうな
0:42:20	気も、すみません、実際に自分がやるわけじゃないんで、勝手なこと言ってますけど、
0:42:25	するんですけど、わかりました。やってないちゅうことで結構ですはい。
0:42:29	はい。まとめとしてはということで、活断層評価、97 ページですね活断層評価見直す必要がない。
0:42:36	とはいえ地震動津波の影響をそれぞれ単品の評価で確認しました。
0:42:41	一応確率論的ハザードのところは、個別のハザード評価は、
0:42:45	てますと。
0:42:46	途中までやってありすと、
0:42:49	概ね同等ですと、はい。
0:42:53	よろしいですかね。なければちょっと最後連動のところ。
0:42:57	金 100 ページぐらいから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:00	先ほど、一応の当社評価と推本評価のいずれかの長い方で両端とって ということで、
0:43:08	ちょっと細かくね特に壱岐北東部の方ってどの辺りの位置に、最後
0:43:14	いわゆる基本モデルの断層を置いたのかっていうところは基本ケースと かね、その辺の細かいところのお話はさておき、
0:43:23	結果としては、
0:43:25	検討地震に選ばれて、こま横ずれ断層として、ある程度
0:43:32	不確かさの考慮もして、ぎりぎりですかね、微妙ですけど、Ss1 を、
0:43:37	近い周期体もどこがあったのかな、これ 108 ページですかね。
0:43:42	水平のEW方向応力降下量を不確かさ考慮したケース。
0:43:47	この辺も精緻なパラスタとしてどこまで良いのかっていうのは、
0:43:52	ガチンコで見るとしたら、
0:43:54	そこを見た上でなりますけど、これ一応ぎりぎり、
0:43:58	Ss1 周期の、何秒とか、1、
0:44:01	2 秒から 3 秒ぐらいですかね。
0:44:05	これここへ出ないっていうのは、きちんとそのなんかデジタル値というか 9 日で確認されてるっっちゃうことですかねなんかあんまり個別のページ に、
0:44:14	何かこう、
0:44:15	ペタペタと貼ってあるんですけど比較した。
0:44:19	下回るって言って、
0:44:22	何か個別の 107 のところとかは、もう何も書いてないんで図だけやって るんですけど、これ下回るっちゃうことでいいですね。
0:44:29	九州電力の野々村です。こちらについてもデジタル値まで確認して下回 るのを確認してございます。
0:44:38	はい。
0:44:39	110 ページ、もうこれ、これ全部、
0:44:43	1 回のヒアリングの時にもこの辺の、
0:44:47	津波の数字は、
0:44:50	確か滑り角 30 度ケースだけですけど、あったと思いますけどそこから 何か変わりました。
0:44:55	この最終結果というかこのプラス 1.86 とかマイナス 1.4 とかで、
0:45:00	はい、九州電力の徳永ですけどこの 3 滑り角 30° のケースの設置自 体は変わってませんで、前回の資料は、30 度の結果しか載せていなか ったものだったと思います。それをパラスターケースも含めて全

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:13	アノ0° 10° 23 という、そういったものの数値も含めて記載を入れているというものでござい。
0:45:19	はい。これだから、
0:45:21	これ連動の諸元 114.4 キロってあれこれだから前回から 114.4 キロでやってたんでしたっけ。
0:45:29	はいはい、わかり。
0:45:32	大井。
0:45:35	その上でですねこっちはあった
0:45:38	等は、
0:45:48	あとですね、ちょっとこちらの卸金海断層とK5 断層隊の方は何か連動の話があった上で、
0:45:57	あと許可の時に津島南西沖と戸田
0:46:02	福嶋北西沖断層群の連動さっきの地震動の時にも、
0:46:06	きましたけど、
0:46:08	宇久島北西へ来断層部分かな。連動で津波評価やってるじゃないですか。今回最終的に御社としては活断層評価上でね、
0:46:19	変更がないという前提で御社のやってるので多分地震動評価さ、津波評価の影響確認も、あくまで第 1 ゴトウ体として今解析されてますけど、
0:46:29	いわゆるその、最大限の影響感度という意味で、
0:46:33	推本の状況下でいうと宇久島と、中通島あそこが連動という、一連のダイゴとオダ断層大とされますと、
0:46:43	御社その一部分と、許可の時に津島南西沖断層との連動で基準津波なりの評価をしてたんですけど、
0:46:52	その影響の感度としてそこを含めたね。
0:46:56	いわゆる地震動は先ほど検討自身選べるかどうかっちゃうのはさておき、ちょっとまだ
0:47:03	耐専でのね、評価やってないっておっしゃいました、津波の方も、この辺りっていうのは、
0:47:09	何かしら感度的にね、確認をしていたりとか、
0:47:13	何かそういうのは、
0:47:16	あります。ファクトとこれも単にやってるかってナカノたファクトだけなんです。
0:47:31	はい。九州電力の徳永です。これ、津島南西から動きが基準津波の所、上昇側の波源になっているということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:41	津島南西と第1ゴトウ体をつなげた連動リスクケースとし、リスクケースといえますか試算ケースとして、
0:47:49	やってるものにやっていますかというお話なんですけど当然基準津波になっている波源が長くなっていくということでスケーリング的に伸びますと、基準津波の値は当然大きくなるということにはなると思います。
0:48:05	ただ、入力津波の方はかなり不確かさを考慮してかなり余裕を積んでいるということでございますのでそこら辺まで考慮してみますと入力津波のその範囲内に収まるのではなかろうかという見立てをしているということまでは、
0:48:22	概ね計算上、見ているというものでございます。以上でございます。
0:48:29	はい部分的に何か着手して検討を始めているっっちゃうことですね状況はわかりました。はい。
0:48:37	はい。よろしいですかね。
0:48:41	特にちょっと今回出されたところとかも含めて、ざっとですけど、ちょっとな。あります。
0:48:46	はい。
0:48:47	お願いします。規制庁の名倉です。すみません。
0:48:50	ささいなことですけど100ページ。
0:48:54	行きオフ東部の断層群51キロ約51キロ家5断層体全体、約
0:49:00	65キロで、
0:49:02	99ページ114キロ。
0:49:05	ここら辺ちょっと、
0:49:07	多分、
0:49:09	小説委員会1桁の。
0:49:11	バランスだと思うんですけど、これちょっと合わないのので教えてもらいます。
0:49:19	九州電力の徳永です。
0:49:22	どうしたらいいかな。
0:49:24	壱岐北東部の長さが51キロとしているところと、警護断層他の長さ65足すと単純116キロで今設定した114キロ2キロぐらい差があるというところですけども、
0:49:37	一番北西側の単点として設定したのが、先ほどの
0:49:45	ページ、
0:49:53	77ページですね、緑の、その左上のちっ町のナンバー117。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:59	右下が 77 ページのちょっと右下の、警固断層我々10 キロ延ばしたところを直線状に単点端点を結んで、
0:50:10	計算すると 114 キロになるということ、ちょっと君、この今表示、100 ページで表示している 5165 ちょっとへの字になったような形で、それぞれの長さを変えているのでそこに若干差が出ていると。
0:50:23	いうものでございます。
0:51:10	よろしいですかね後、
0:51:13	あとこれ一ね。
0:51:17	あ、すみません、ここの資料の中で、何かあれば、端的に。
0:51:22	松田さん、ちょっといいですか。
0:51:24	今、今の
0:51:26	稲村さんの質問に加えてですけど 103 ページのモデルを見ると、
0:51:32	3 枚、
0:51:34	モデルになってますよね。
0:51:36	これ、今、
0:51:39	個別の断層これ足すとなんぼになるのかな。
0:51:42	ちょっと先ほどの説明と 115 になるのかならないのかちょっと。
0:51:47	ぱぱっと計算できないんですけどその辺、
0:51:50	さっきの説明とちょっと合わないの、
0:52:06	はい。
0:52:12	九州電力の盛でございます。
0:52:16	すみません。衛藤。
0:52:17	103 ページの地震動のモデルにつきましては、地震動評価においてちょっとモデルの考え方を見直し直して見直すといえますか。
0:52:28	地震動評価上の考え方をとってございまして、
0:52:31	中部区間というところが、三つの
0:52:34	セグメントの中部セグメントがございしますが、こちらは 2005 年福岡県西方沖地震、
0:52:40	がございしますので、その位置に震源を置いております。
0:52:45	北部、南部セグメントは、北端は壱岐北東部の
0:52:49	座標で、
0:52:51	南部の南端は、当社の衛藤。
0:52:54	警固断層他イノウエと南東向けまして、それぞれを中部セグメントで結んでいるというようなことを実施してございまして、長さとしては、全長で 114.4 キロメートルと、とってございまして。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:10	さっき、
0:53:11	115 っておっしゃいます。
0:53:16	115 ってどっかで書いてある。
0:53:20	いやいや、だからさっきのノダ 100 ページを足すと 116 になりますよね って。
0:53:28	ところとの、
0:53:29	何で猫
0:53:31	そうそう。
0:53:33	そっか。
0:53:37	久野字型を一直線にすると、ちょっと減ります。減る中がその差分が出 ますってことで、
0:53:43	だから、だけどそのだから、その今の三つの、
0:53:48	3 セグメントを足すと 114 点。
0:53:52	4 になるんでしょ。
0:53:54	でもさっき、
0:53:56	名倉さんの子、
0:53:58	質問に対しては端点と端点直接結んだからだっていう、説明じゃなかっ たですか。
0:54:09	九州電力の古閑です。津波の時は、は
0:54:13	すいません資料につけてないんですけれども単点単点で、114 キロと設 定をして、
0:54:18	計算をして、
0:54:20	だから、
0:54:22	この資料を見る人は、そういう数字しか見え、見えないから。
0:54:27	そこに誤差があると。
0:54:30	非常に疑いの目で見えるわけですよ。
0:54:34	その辺はきちっと
0:54:36	誤解のないような資料を作らないと、
0:54:39	いい加減な資料とかいうことが違ってるとんじやないかっていう質問 が、やっぱり今見私らでもそういう質問せざるをえなくなるわけですよ。
0:54:48	だからその辺はきちっと、
0:54:49	違うならこういう理由でここがこう違うんだってということをちゃんと書いて いかないと。
0:54:56	適当に、
0:54:59	やってると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:02	変な話っちゃうか、誤解を招くだけですからね。
0:55:06	その辺はきっちりやってお願いします。
0:55:10	吉井、ごめんなさい規制庁スズキ巢守ますけど、多分今やってる評価って、結局なんか活断層評価のね、ところのしっかりしたデータがあった上ですよ、それを踏まえて地震動モデルどうするかっていうところが飛ぶので、
0:55:24	あくまで今回お聞きする段階では、
0:55:28	別にここに出ている 103 ページのモデルがいいのかどうかの、多分その前のところが決まってないわけなんで、
0:55:36	当然御社としてはこの 130 作るにあたって当然根拠があるんでしょから、今後そういうものを説明するときには、当然ながら、実の結果から、どうやってこのモデルを組んで、
0:55:48	とか諸元をどう決めてるのかっていうのは普通やりますよね。
0:55:51	それはきちんとしかるべき時には、当然ながら今松江が言ったような話は出してもらう必要があるので、あくまで今は本当にこの基本ケースでいいのかどうなのかっちゃうところは、一旦度外視した上で、
0:56:02	感度として我々、その限りで見えますんで、はい。
0:56:07	その上でどうぞ。
0:56:09	九州電力の明石でございます。今松江さんからご指摘いただいたところも本当にご指摘の通りでございます、恥ずかしい実態を申し上げますと、100 ペイジーを活断層を担当してるもので整理をし、
0:56:22	そっから先、例えば、
0:56:25	地震動のモデルの長さは地震動の設定の中でどうし、津波の長さはどうしてとそれぞれの担当で作成資料作成していったら、
0:56:37	神尾として全体一貫してちゃんと説明の流れになってるかという確認を、まさにするのが私の責任でございましたけども、
0:56:47	でき上がったものを貼り付けた状態になってたというのが実態でございます申し訳ございません。そこは、それぞれ活断層評価上の長さでそれを地震或いは津波のモデルにどう落としていったら長さがどうなってるというのは、
0:56:59	当然、考えてやってるところでございますので、そこがちょっとちゃんとわかるような記載で整えさせていただきます。申し訳ございませんでした。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:09	はい。規制庁関ですはい。そこはしっかりしてくださいと言いつつ、何か津波のところの 110 ページの方も、何か津波の方見ると断層長さ、さっきの地震動と一緒に 114.4 になってますけどね。
0:57:23	116 じゃなくて、
0:57:25	辺いいのかな。
0:57:26	そこ 114.4 を共通で飯野地震動津波、
0:57:36	はい、わかりました 101 ページの添あそこはいいんですね、細かい断層モデルだったときに変わるとはいわかりましたがありました。
0:57:43	はい、よろしいですかね。
0:57:45	はい。
0:57:47	はい。あと最後 1 点だけこの資料じゃないですけど、ちょっとなんでね今回五月雨式で、こっちから何かこういうのを本当やってないんですかっていうと、ヒアリングでいくと、
0:57:57	いつか下ツチや実はちょっととかっていう形で出てくるんですけど。
0:58:02	ここ半年です。今言ったような地震動の影響から、家ごとの連動の検討とか、今言った地震動とかあとは推本の差分の分析とかね。
0:58:11	公平性っていうのは、
0:58:12	それぞれのプロジェクト、
0:58:14	お金推本が出たので 1 年半前とかですけど、
0:58:17	何かそのときに実はやってたものを今説明されてるとあまり思えてなくて、何ていうか我々去年の 10 月ぐらいにもう 1 回、会合の場で言いましたし、今年も何回か言いましたけど、
0:58:28	長期評価のね、各影響ってちゃんと分析してるであろうからその前提で確認しますよと言って、初めの頃は推本の差分もよくわからない資料が出てきたりしたんですけど、
0:58:38	これやっぱ最近になってからやってるもののがかなり多いっちゃう素行は事実としてそういうことでよろしいですか。
0:58:45	どのぐらいまでやってタカオ細々いきませんが、いわゆる 1 年前とか、さらには個別のプロジェクトが出たのは、平成何十 30 年とか 31 令和が 2 年とか出てますよね。
0:58:56	その時に、どのぐらいまでやってたのか細かくは今聞きませんが、
0:59:01	今出てきてる資料の大半っていうんですかね。
0:59:04	この
0:59:06	特に地震動津波の件の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:08	後段の影響検討ですね、こういったものは基本的に最近やられたものという理解で合ってます。
0:59:17	九州電力の徳永です。今作っている資料で、地震動津波評価で、ハザードのところについてはちょっと
0:59:27	今回、最近にちょっと計算をしているところも多少或いはするんですけど、ベースとして計算しているものについて、津波まず津波の方からいきますとほとんどが計算や、
0:59:39	でおったものがある、ある、大半かなというふうに思ってますんで、冒頭ありましたプロジェクトのときに出ていた断層長さ当然我々も確認をしまして、
0:59:51	細かい評価とかが活断層評価との記載等もないので確認がなかなか難しいところではあったんですけども
1:00:00	資産としてこう伸びたらどんくらいになるだろうとか、そういったものは、プロジェクトが出た時からずっと確認をしたりをしておりました。ただ、その長さが地震本部とぴたりと同じ長さではなかったりもしてましたので再度解析をもう一度回すとか、
1:00:13	ご提示するためにはきちんとチェックをしないといけないとかっていうので時間がかかって令和してはいるんですけど基本当たり計算等はやってきていましたというのが所正直なところでございます。
1:00:25	はい。
1:00:26	はい、わかりました。一応その許可の評価の時と、長期評価が出てこちらから来ますよという、一応間のところでも一応このプロジェクトが、これ毎年報告書出てますよね。事業者によっては、
1:00:38	毎年の報告書を、審査資料で引用してるね、日本海側の他の事業者ありますけど、
1:00:44	それを一応行為としてやってたということです。わかりました。細かい話は聞きませんが、はい。
1:00:49	わかりました。以上です。
1:00:51	よろしければ、ちょっと
1:00:54	終了しますけど、よろしいですかね。はい。
1:00:57	じゃあ、ヒアリングの方終了しますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。